

令和5年度 高等部 1年 (II 課程A類型①グループ) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
3時間	1学年8名、		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人) 数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。</p> <p>職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	<p>(知及技) 万の単位や1億までの整数について知り、十進法や4桁区切りによる万法数を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考える。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 整数の表し方について数学的表現を用いて考える。(高1段階)</p> <p>(学・人) 学習の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 万の単位や1億までの整数を知り、十進位取りについての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 1億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さ気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【A数と計算】 ア整数の表し方 (高1段階) イ整数及び小数の表し方 (高1段階) ウ整数の加法と減法 (高1段階)</p>	<p>ア億、兆までの数 イ10倍の数、100の数、1/10の数 ウ足し算・引き算</p>
	15	<p>(知及技) 概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用し、目的にあった数の処理の仕方を考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 概数を用いて考えた過程を振り返り、その良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理する良さについて考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。(高1段階)</p>	<p>【A数と計算】 アおよその数の表し方 (高1段階) イ概数を使った計算 (高1段階)</p>	<p>ア1000円で買えるものを考えよう ア学校の生徒数や人口について、概数で表す仕方を考える。 イ3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。</p>

6	<p>(知・技) 簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えることができる。(高1段階)</p> <p>(学・人) 考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 伴って変わる2つの数量の關係に着目し、表を用いて比例の關係をとらえ、比例の關係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 簡単な場合の比例の關係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【(変化と關係)】 ア 伴って変わる2つの数量 (高1段階)</p>	ア 比例をくわしく調べてみよう
12	<p>(知・技) 平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 図形を構成する要素に着目してとらえる力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 図形を構成する要素をとらえる力を今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出し、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【B図形】 ア 平面図形 (高1段階) イ ものの位置 (高1段階)</p>	ア 同じ種類の四角形を探してみよう イ 自分の位置から相手を見つけよう
21	<p>(知・技) 面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるようにすることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用して面積の求め方や単位について考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の關係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 面積を数値化して表すことの良さや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【B図形】 ウ 平面図形の面積 (高1段階) エ 立体図形 (高1段階)</p>	ウ 四角形の面積/三角形の面積 エ 展開図から立体を考えてみよう

	9	<p>(知及技) 異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 単位量当たりの大きさをういた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。(高1段階)</p> <p>(主学) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【変化と関係】 イ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量 (高1段階)</p>	<p>イ速さの比べ方を考えてみよう ～いろんな乗り物の速さ比べ～</p>
3 学期	15	<p>(知及技) 日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用して、表やグラフから見出したことを考察する力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【0データの活用】 ア データの収集とその分析 (高1段階) イ 測定した結果を平均する方法 (高1段階)</p>	<p>アわかりやすく整理して表そう ～棒グラフと表～ イならした大きさ(平均)を考えよう 平均を使ってみよう</p>
	12	<p>(知及技) 2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。(高1段階)</p> <p>(主学) 2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【変化と関係】 ウ 二つの数量の関係 (高1段階)</p>	<p>ウ割合の表し方を考えよう</p>

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和5年度 高等部 1年 (II課程A類型②グループ) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
3/105	1学年10名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階)</p> <p>(学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。</p> <p>職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)</p>		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	<p>(知及技) 万の単位や1億までの整数について知り、十進法や4桁区切りによる万数法を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考える。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 整数の表し方について数学的表現を用いて考える。(高1段階)</p> <p>(学・人) 学習の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 万の単位や1億までの整数を知り、十進位取りについての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 1億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【A数と計算】 ア整数の表し方 (高1段階) イ整数及び小数の表し方 (高1段階) ウ整数の加法と減法 (高1段階)</p>	<p>ア億、兆までの数 イ10倍の数、100の数、1/10の数 ウ足し算・引き算</p>
	15	<p>(知及技) 概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用し、目的にあった数の処理の仕方を考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 概数を用いて考えた過程を振り返り、その良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理する良さについて考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【A数と計算】 アおよその数の表し方 (高1段階) イ概数を使った計算 (高1段階)</p>	<p>ア1000円で買えるものを考えよう ア学校の生徒数や人口について、概数で表す仕方を考える。 イ3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。</p>

6	<p>(知及技) 簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えることができる。(高1段階)</p> <p>(学・人) 考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 伴って変わる2つの数量の關係に着目し、表を用いて比例の關係をとらえ、比例の關係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 簡単な場合の比例の關係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【C変化と關係】 ア伴って変わる二つの数量 (高1段階)</p>	ア比例をくわしく調べてみよう
12	<p>(知及技) 平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 図形を構成する要素に着目してとらえる力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 図形を構成する要素をとらえる力を今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出し、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。(高1段階)</p>	<p>【B図形】 ア平面図形 (高1段階) イものの位置 (高1段階)</p>	ア同じ種類の四角形を探してみよう イ自分の位置から相手を見つけよう
21	<p>(知及技) 面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるようにすることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用して面積の求め方や単位について考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用とする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の關係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) 面積を数値化して表すことの良さや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(高1段階)</p>	<p>【B図形】 ウ平面図形の面積 (高1段階) エ立体図形 (高1段階)</p>	ウ四角形の面積/三角形の面積 エ展開図から立体を考えてみよう

9	<p>(知及技) 異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 単位量当たりの大きさをを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。(高1段階)</p> <p>(主学) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。(高1段階)</p>	<p>【C変化と関係】 イ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量 (高1段階)</p>	<p>イ速さの比べ方を考えてみよう ～いろんな乗り物の速さ比べ～</p>
15	<p>(知及技) 日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 数学的表現を適切に活用して、表やグラフから見出したことを考察する力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。(高1段階)</p> <p>(主学) データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。(高1段階)</p>	<p>【Dデータの活用】 ア データの収集とその分析 (高1段階) イ 測定した結果を平均する方法 (高1段階)</p>	<p>アわかりやすく整理して表そう ～棒グラフと表～ イならした大きさ(平均)を考えよう 平均を使ってみよう</p>
12	<p>(知及技) 2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人) 多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思・判・表) 2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。(高1段階)</p> <p>(主学) 2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。(高1段階)</p>	<p>【C変化と関係】 ウ 二つの数量の関係 (高1段階)</p>	<p>ウ割合の表し方を考えよう</p>
留意点 引継ぎ等				

令和5年度 高等部 1年 (II 課程A類型 ③④グループ) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	高等部1年 12名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。(高1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)億や兆までの整数を表すことができる。(高1段階Aア) (思判表力)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさを比べたり、数えることができる。(高1段階Aア) (学・人)億や兆の仕組みや表し方について理解し、生活や学習に活用することができる。(高1段階Aア)	(知・技)億や兆までの整数を知り、理解することができている。 (思・判・表)大きな数の大きさを比べたり、数えることができている。 (主学)億や兆の仕組みや表し方について理解し、生活や学習に活用することができる。	【A数と計算】 ア 整数の表し方	・「億」や「兆」の意味を知る。 ・整数の位取りの仕組みをまとめる。
		(知及技)概数や四捨五入の意味を理解することができる。(高1段階Aイウ) (思判表力)四捨五入する位に着目して、概数にする方法を考えることができる。(高1段階Aイウ) (学・人)目的に応じて計算の見積ができる。(高1段階Aイウ)	(知・技)概数や四捨五入の意味について理解している。 (思・判・表)四捨五入する位に着目して、概数にする方法を理解している。 (主学)目的に応じて計算の見積ができている。	【A数と計算】 イ 概数 ウ 四捨五入	・「がい数」の意味や概数を「約」を用いて表すことを知る。 ・「四捨五入」の意味や方法を知る。 ・見積を出して、1000円で買える物を考える。
		(知及技)3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができる。(中2段階Aイ) (思判表力)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出すことができる。(中2段階Aイ) (学・人)既習の筆算の仕方を基に、3~4位数の加減法の筆算の仕方考えることができる。(高1段階A工)	(知・技)4位数までの加減法が筆算できている。 (思・判・表)3~4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて表現できている。 (主学)3~4位数の加減法の筆算の仕方考えることができる。	【A数と計算】 工 整数の加法及び減法	・筆算の仕方をまとめる。 ・場面をとらえ、図を基に式を立てる。
		(知及技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ることができる。(中2段階Cア) (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴に気づくことができる。(中2段階Cア) (学・人)二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができる。(高1段階Cア)	(知・技)伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて調べることができている。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考えることができている。 (主学)二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができている。	【C変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量	・表を用いて数量の変化について調べる。 ・比例について詳しく調べる。

2 学 期	42	<p>(知・技)基本的な図形が分かり、その図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすることができる。(中1段階Bア)</p> <p>(思・判・表)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りの物の形を図形として捉えることができる。(中1段階Bア)</p> <p>(学・人)身の回りにあるものの形の中から直角を見つけることができる。</p>	<p>(知・技)基本的な図形が分かり、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図することができる。(中1段階Bア)</p> <p>(思・判・表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出すことができる。(主学)身の回りにあるものの形の中から直角を見つけようとしている。</p>	<p>【B図形】 ア図形</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な図形の意味や性質を理解する。 用語「辺」「頂点」を知る。 格子点を直線で結んで、三角形や四角形などの基本図形を構成する。 身の回りから三角形や四角形を探す。 紙を折って直角を作る。 長方形の紙を折ってはみ出した部分を切り取って正方形を作る。
		<p>(知・技)ものの位置の表し方について理解することができる。(高1段階Bウ)</p> <p>(思・判・表)平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現することができる。(高1段階Bウ)</p> <p>(学・人)平面上の位置の表し方をもとに、空間の位置の表し方を考えることができる。(高1段階Bウ)</p>	<p>(知・技)ものの位置の表し方について理解することができる。(高1段階Bウ)</p> <p>(思・判・表)平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現することができる。(主学)平面上の位置の表し方をもとに、空間の位置の表し方を考えることができる。(高1段階Bウ)</p>	<p>【B図形】 ウものの位置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の位置から相手を見つける。 前後、左右、上下を知る。
		<p>(知・技)面積の単位【平方センチメートル(cm²)、平方メートル(m²)、平方キロメートル(km²)】について知り、測定の意味について理解することができる。(中2段階Bイ)</p> <p>(思・判・表)面積の単位に着目し、図形や正方形の面積について、求め方を考えたり、計算して表すことができる。(中2段階Bイ)</p> <p>(学・人)図を分割したり補ったりして面積を求めることができる。(中2段階Bイ)</p>	<p>(知・技)面積の意味や面積の単位【平方センチメートル(cm²)、平方メートル(m²)、平方キロメートル(km²)】について理解している。(思・判・表)正方形、長方形の特徴や1cmのますの数に着目して、長方形や正方形の面積を求める公式を考えたことができています。(主学)図を分割したり補ったりして面積を求めることができる。</p>	<p>【B図形】 イ面積</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「面積」の意味や面積の単位【平方センチメートル(cm²)、平方メートル(m²)、平方キロメートル(km²)】について知る。 長方形、正方形の面積を計算で求める方法を考える。 長方形を組み合わせた図形の面積を、分割したり、補ったりするなどのいろいろな考えで求める。
3 学 期	27	<p>(知・技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。(小3段階Cア)</p> <p>(思・判・表)身の回りの物の長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現することができる。(小3段階Cア)</p> <p>(学・人)身の回りにあるものの特徴などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えることができる。(小3段階Cア)</p>	<p>(知・技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。(小3段階Cア)</p> <p>(思・判・表)身の回りの物の長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現することができる。(主学)身の回りにあるものの特徴などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えることができる。</p>	<p>【(変化と関係)】 【測定】 ア身の回りのものの量と単位と測定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるものの測定をする。 目盛りを読む。 長さ、広さ、かさの単位を知る。
		<p>(知・技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ることができる。(中1段階Dア)</p> <p>(思・判・表)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ることができる。(中1段階Dア)</p> <p>(学・人)身の回りの事象について考察した過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に生かすことができる。(中1段階Dア)</p>	<p>(知・技)日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができる。(思・判・表)目的に応じてデータを整理し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察することができる。(主学)身の回りの事象について考察した過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に生かすことができる。</p>	<p>【Dデータの活用】 アデータの収集とその分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「正」の字を使って数量を整理する。 「合計」の意味を知る。 「棒グラフ」について理解する。 表と棒グラフを比較し、どんなことがわかりやすくなかったか考える。 棒グラフの長さに着目して、棒グラフの特徴をまとめる。
		<p>(知・技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ることができる。(中2段階Cイ)</p> <p>(思・判・表)日常生活における数量の割合に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。(中2段階Cイ)</p> <p>(学・人)二つの数量の関係を表で調べることのよさに気付くことができる。(中2段階Cイ)</p>	<p>(知・技)二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いることができる。(思・判・表)日常生活における数量の割合に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。(主学)二つの数量の関係を表で調べることのよさに気付くことができる。</p>	<p>【(変化と関係)】 イ二つの数量の関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 割合の表し方を考える。 二つの数量の関係を表に表したり、式に表したりして、規則性について考察する。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程B類型） 数学科年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	1学年Ⅱ課程B類型(9人)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	(知及技)ものの集まりや数詞と対応して数字がわかる。【小2段階A数と計算】 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方を考える。【小2段階A数と計算】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高1段階】	(知・技)10までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したりしている。【小2段階A数と計算】 (思・判・表)数の数え方や数の大小比較、数の合成や分解の仕方を磁石・シールや数字カード等の具体物を使って表現している。【小2段階A数と計算】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高1段階】	10までの数の数え方や表し方、構成【小2段階A数と計算A】	○「配ってみよう」 数唱しながら物を取ったり配ったりする。また、物に対応させて配る。色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。 ○「並べてみよう・並んでみよう」 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。 ○「あわせていくつ?いくつといくつ?」 1つの数を2つの数に分けたり、2つの数を1つにまとめたりして表す。
	18	(知及技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較する。【小3段階C測定】 (思判表力)身の回りのもの長さ・広さ及びかさについて、その単位に着目し大小を比較したり、表現したりする。【小3段階C測定】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高1段階】	(知・技)長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と2辺を揃えて並べている。かさについて、同じ大きさの空のカップを使ってくらべている。【小3段階C測定】 (思・判・表)長さ・かさについて、色板等を使い2つの比較物の「○個分」から、長い方(短い方)・広い方(狭い方)を選択している。かさについて、カップ「○個分」と表現している【小3段階C測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高1段階】	身の回りのものの量の単位と測定【小3段階C測定A】	○「○個分で長さを比べよう」 長さや高さなどの量の大きさを知る。2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。長い・短い、高い・低いを判断する。 ○「○個分で広さを比べよう」 広い・狭いの用語を知る。2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。広い・狭いを判断する。
2 学期	20	(知及技)ものの形に着目し、身の回りにももの特徴を捉える。【小3段階B図形】 (思判表力)身の回りにもものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする。【小3段階B図形】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高1段階】	(知・技)丸、三角、四角がそれぞれどのような形であるかを理解し、弁別している。【小3段階B図形】 (思・判・表)色板・棒・積み木を組み合わせ、三角形・四角形、家やロケット等を作っている。【小3段階B図形】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高1段階】	身の回りにももの形【小3段階B図形A】	○「同じ形に分けよう」 丸、三角、四角の特徴を知り、形の弁別をする。もの形に着目し、身の回りにももの特徴をとらえ、形をわける。 ○「形をつくろう(見本構成)」 丸、三角、四角の形を使って、具体物をつくる。

	22	<p>(知及技) 時間の単位 (日、午前、午後、時、分) について知り、それらの関係を理解する。【小3段階C測定】</p> <p>(思判表力) 実際の生活の場面で、午前・午後を判断することができる。【小3段階C測定】</p> <p>(学・人) 数学的活動に関心を持ち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 今日の日付を表現したり、カレンダーから選んだりしている。正時を理解し、時刻を読んだり、絵カード等を選ぶことができる。【小3段階C測定】</p> <p>(思・判・表) 絵カード等を使って、実際の生活の場面で、午前・午後を判断している。【小3段階C測定】</p> <p>(主学) 数学的活動に関心を持ち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高1段階】</p>	<p>時刻や時間【小3段階C測定ア】</p>	<p>○「午前・午後」 時間の単位 (日、午前、午後) について知る。日常生活の中で、午前・午後の判断をする。</p> <p>○「時間」 時間の単位 (時、分) について知る。</p>
3 学期	27	<p>(知及技) 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類する。【小2段階Dデータの活用】</p> <p>(思判表力) 身の回りにあるものの個数に着目して、絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。【小2段階Dデータの活用】</p> <p>(学・人) 数学的活動に関心を持ち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高1段階】</p>	<p>(知・技) 設定されたテーマに合う・合わないの選択をしている。また、テーマに属するの絵カードを分類している。【小2段階Dデータの活用】</p> <p>(思・判・表) ゲームの結果を磁石、シール等で表に表している。また「多い」「少ない」に気付くことができる。【小2段階Dデータの活用】</p> <p>(主学) 数学的活動に関心を持ち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高1段階】</p>	<p>ものの分類、同等と多少、○×を用いた表【小2段階Dデータの活用ア】</p>	<p>○「わけてみよう」 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類する。共通点や相違点を考える。</p> <p>○「勝敗を決めよう」 ものどもの対応させることで、ものの同等や多少を知る。身近にあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。</p> <p>○「○×を用いた表」 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表を作成する。「○×」の意味を知る。</p>
留意点 引継ぎ等					